

奮闘「おとめ茶屋」! ～すくも湾漁協女性部直営食堂～



高知市丸の内
高知県海洋局
発行人 久保田寿一
編集人 海洋企画課
定 価 無料



まだまだ飾り気のない外観。近々「地産地消」ののほりを目印に立てるとのこと。

県内初の衛生管理型市場として、昨年11月に開設されたすくも湾中央市場(※かつお通信12号既報)は、市場統合による取扱量の増大に加え、近年にない「まぎ網漁業」の豊漁等も重なり、魚価が向上する等順調すぎほどの滑り出しを見せています。

市場の活況や漁業者による新たな流通、販売の取り組みなど、明るい話題の多い宿毛湾地区で、また一つ新しい取り組みが始まっています。

今回は、その新たな取り組み、すくも湾中央市場の隣で経営を始めたすくも湾漁協女性部直営の食堂「おとめ茶屋」をご紹介します。

■女性部ならではの
おとめ茶屋は、すくも湾中央市場の南側、すくも湾漁協が設置した2棟の食堂施設の一つをすくも湾漁協女性部が借り受け、6月から営業を始めています。もう1棟には民間の食堂が入居しており、一応は商売敵ですが関係は良好とのこと。

営業は朝7時からで、女性部12人ほどがローテーションを組んで常時3名で切り盛り。

メニューは一番人気の「おとめ定食」をはじめ、焼き飯、カレーライス、親子丼、うどんなど。もちろんビールもあります。

値段は現在オープン記念特価中で、一番高いカツカレーでも600円と破格のプライス!

また、注文に応じてお弁当も配達しており、何の宣伝もしていないにもかかわらず、1日60



おとめ定食(刺身定食)が500円!この日は鮮度抜群のハガツオとケンサキイカ

600円と破格のプライス!

また、注文に応じてお弁当も配達しており、何の宣伝もしていないにもかかわらず、1日60

■一難去って
食堂の経営を引き受けることを決めてわずか二カ月の間に準備を整え、6月にやっと開店



日替わり弁当 なんと350円!

■そんな無茶な
食堂を経営するに至ったことの発端は、市場の隣で食堂をやってみないかとの漁協からの投げかけからでした。それも食堂施設が完成するわずか2カ月前という時期。

話を受けた女性部では、やるかやらないか激しい議論を重ねました。というのも、女性部の皆さんもそれぞれ職業を持っている上、各々が所属する支所でも女性部活動を精力的に行っており、果たしてこれに加えて常設の食堂をきちんとこなし、いけるかという不安が一番大きかったようです。

海を売り上げるまでに口コミで評判が広がっています。

海の資源を守りましょう

- 資源管理型漁業を進めましょう
- 漁業秩序を守りましょう

■女性部活動のメッカ
開店してわずか3カ月ですが、口コミで噂が広がり、四十十市からわざわざ魚を食べに来る人まで出てくるほど。

「安くない」と利益は二次の経営方針ですが、自分たちで経営できるやり甲斐に女性部の皆さんは輝いていました。

柏島のところ天や安満地の天ぷら等宿毛湾地区の女性部活動は全国的にも注目され始めました。女性部活動の先進地として一層の飛躍を期待しています。

したものの、何と最大の売りである目の前の市場に水揚げされた魚が買えないという信じられない問題にも遭遇。市場での取引に係る厳しいルールによるものでしたが、漁協が間に入って魚を調達する形で解決し、水揚げされたばかりの新鮮な魚を格安で提供出来るようになっていきます。



アットホームな雰囲気店内

【編集後記】
女性部が強いことは、枚挙に暇がない。遺伝子的にもXYよりXXの方が安定ではないか? 生後9カ月の愛娘も強い。風呂で顔に水がかかろうが、階段からコケようがひくともしない。さすが宇宙最強の遺伝子を受け継いだだけのことはある。

【コラム】
「縦割り」
自主財源に乏しい本県では国の補助金なしに様々な事業を進めることは難しく、国との関係だけを考慮すれば縦割りの組織は効率的である。しかし、地域振興を進める場合、行政の縦割りだけでなく、観光や産業といった分野の区分さえ非効率な存在と映る。いかなる組織を作るのが、完璧な組織というものはあり得ないが、より地域に近い行政組織に横串機能が期待されていることは間違いない。

漁業経営のことなら、今すぐお電話を!

専門アドバイザーが、漁業経営、流通改善について無料でご相談に応じます。まずはお電話を!

- 漁業経営指導協会 tel 088-825-3980
- 上原アドバイザー tel 090-1570-4904